

## <トピックス>

- ・ ごあいさつ
- ・ 志望校選定の極意
- ・ 目標設定の重要性
- ・ 自分を知る大切さ

4月に入り、暖かい日が多くなってきました。新学年となる月を迎え、気持ちも新しく、前向きに学習をスタートさせていますか？春の陽気で眠気に負けていませんか？春は具体的な目標設定する絶好のチャンスです。まずは前学年を振り返り、自分の伸ばすべきところ、修正をかけるべきところを把握しましょう。

## 志望校選定の極意

親御さんの大きな勘違い（日頃の教育相談にて）

- 県立高校に入れば、最低富大には入ることができる  
⇒高校によっては上位数名しかいけない現実がある。
- 県立高校からはどこからでも一般入試で国公立大学へ進学できる  
⇒授業レベルが受験レベルに達していない場合、推薦を狙うしかない。  
＝志望する高校の上位何番までが目的の大学に進学できるか考慮する必要がある。
- 実業科に入ったから、もう勉強しなくてもいい  
⇒文科省策定の学習指導要綱に沿って授業が展開されるため、ある程度の基礎学力が求められる。＝特に国・数・英はなくなるわけではない。
- 推薦入試や受験は高校3年生になってから頑張ればいける！  
⇒1年次から進学に向けて着実に積み上げないと、道は開けない。 etc.

さて、大学を目指す手法は様々ですが、高校のレベルによります。

- ① 高校内で順位を上げ、国公立を狙える学力を付ける = センターレベル・2次レベル
- ② 定期テストで評定を上げ、推薦を狙う = 定期テスト対策と早期の自己申告

<普通科を有する高校の場合>

- A・・・センター狙い 国公立志向 ⇒ 富山中部、富山、富山東
- B・・・センター&推薦併用 ⇒ 富山南、呉羽、いずみ
- C・・・推薦・私立・短大・専門 ⇒ 水橋、富山北部、富山西

<志望校選定の手順>

- ① 高校進学後を知る  
上位何人が一般入試で進学しているか？  
国公立志向か私立志向か？
- ② 高校の特徴を知る  
一般入試が多いか、推薦が多いか？  
課題やテストの量  
授業の進度と特徴
- ③ 高校のレベルを知る  
500点満点中何点必要か？（内申点重視かどうか？）  
200点満点中何点必要か？（具体的対策を練る）

## 目標設定の重要性

目標設定は成績UPにおいて非常に重要な要素となります。人間誰も目標がないと頑張れないものです。目標設定には以下の3つの要素があり、順序だてて“根拠付け”を行っていくことが重要であると言えます。是非ご家族で、どのように学習へのモチベーション（学習の動機付け）を持たせるかを考えてみてください。

### 長期的目標・・・将来の夢や今後進むべき道

例：医者になりたい⇒医学部に入る必要がある⇒理系に進むべき⇒医学部進学率の高い高校の選択⇒日常のやるべきこと

### 中期的目標・・・1年通しての大まかな目標

例：1年終了時点で20番内に入る⇒点数の取れていない科目の精査⇒具体的な弱点補強としての取り組み

### 短期的目標・・・テストごとの数値的な目標

例：次のテストで400点以上取る⇒国語・数学・英語で各90点以上、社会・理科で各80点以上⇒各科目の単元別精査

目標設定を行う場合、長期⇒中期⇒短期のように掘り下げていくのが理想ですが、長・中期目標ばかりを重視してしまうと目標がぼやけてしまいますし、中学生で長期的目標が設定できるお子さんはあまり見受けられません。現実的には、ある程度の長期的目標（どの高校に入りたいか、入った後どうしたいか）をなんとなくでもいいので考えつつ、中期的目標（総合点数の目標）から短期的目標（中期目標を達成するためには、テストごとの各科目で何点取らなければならないか？）を追っていくことになります。

## 自分を知る大切さ

志望校選定する上で「自分を知る」ということは非常に重要なポイントになります。目標設定にも関わってきますが、目標を立てるとき、目標に対して具体的に取り組むときは、まず自分を知らなければ重大な「ロス」が発生する可能性があります。以下に注意して自分を知る努力をしてみましょう。

- 自分の武器になる科目は何か？
- どう頑張ってもなかなか点数にならない科目は何か？
- 定期テストと中教研の点数を比較して、
  - 定期テスト > 中教研 ⇒ 実力が定着していない ⇒ 定着するための改善
  - 定期テスト < 中教研 ⇒ 授業の受け方の改善
  - 定期テスト ≒ 中教研 ⇒ 細かな箇所の改善から全体をブラッシュアップ

志望校の選定は、ただ単に現在の点数から「行くことができる学校を選ぶ」行為ではなく、将来を考慮した上で、「自らが伸ばして入るべき学校を選ぶ」必要があります。この春、しっかりとした目標設定を行い、伸びるベースを作っていただきたいと思います。

教務部 石黒